



 Strada

Panasonic®

# 取付説明書

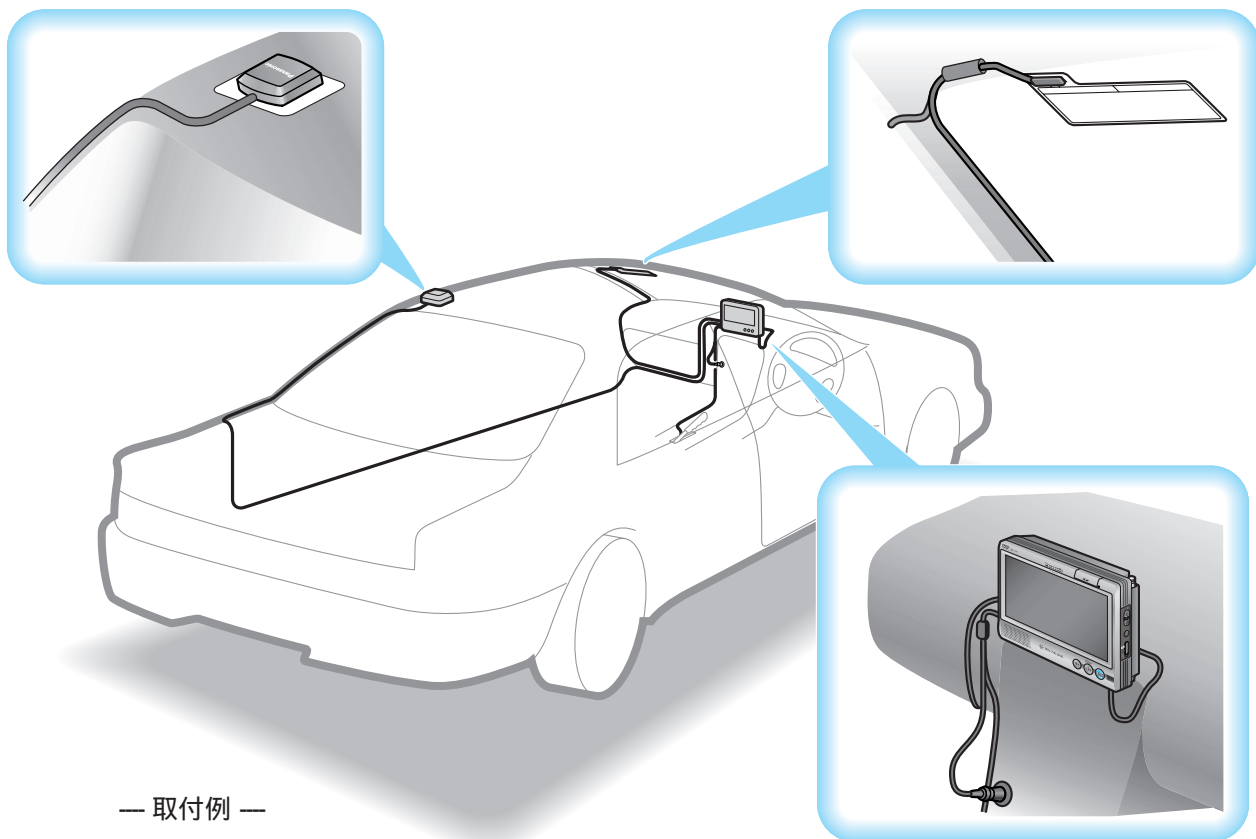
設置と接続

ポータブルDVDカーナビステーション

品番 **CN-DS100D** (シルバー)

**CN-DS100KD** (ブラック)

**CN-DS100TD** (ブラウン)



— 取付例 —

ご使用前に、取扱説明書 (ナビゲーションの準備・基本編) の「安全上のご注意」と「使用上のお願い」を必ずお読みください。

#### お客様へのお願い

本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

#### 販売店様へのお願い

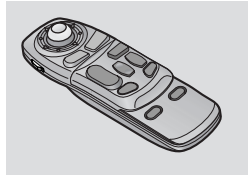
本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へご返却ください。

# 内容物の確認

## ① ナビゲーション本体



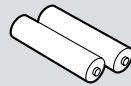
## ② リモコン



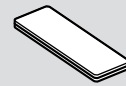
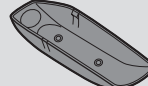
単3形乾電池

リモコンホルダー

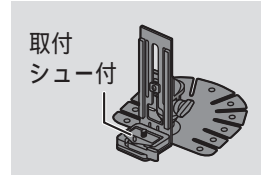
両面テープ



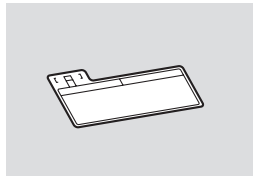
(2個)



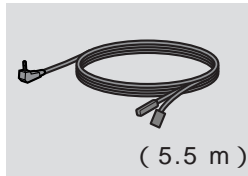
## ③ スタンド



## ④ フィルムアンテナ



## ⑤ アンテナコード



(5.5 m)

## ⑥ GPSアンテナ



防水ゴム  
(コード: 6 m)

## ⑦ 保護シート

GPSアンテナ  
車外取付用

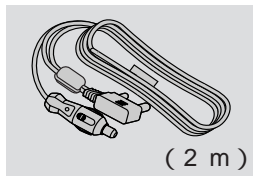


## ⑧ 金属シート

GPSアンテナ  
車内取付用

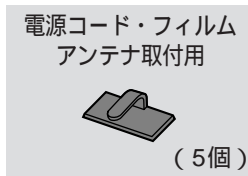


## ⑨ 電源コード



(2 m)

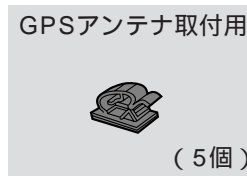
## ⑩ コードクランパー



電源コード・フィルム  
アンテナ取付用

(5個)

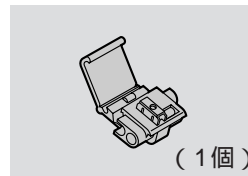
## ⑪ コードクランパー



GPSアンテナ取付用

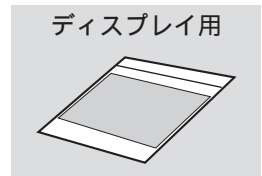
(5個)

## ⑫ 圧着式コネクタ

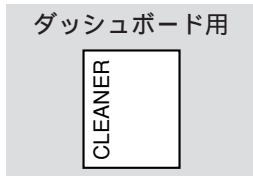


(1個)

## ⑬ クリーニングクロス



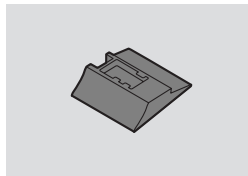
## ⑭ クリーナー



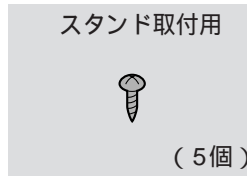
ダッシュボード用



## ⑮ 家庭用スタンド



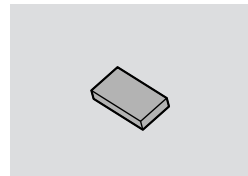
## ⑯ タッピンねじ



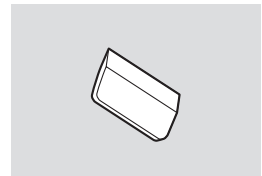
スタンド取付用

(5個)

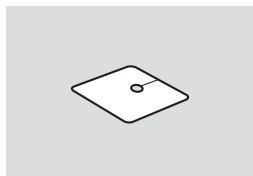
## ⑰ クッション材



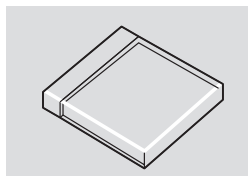
## ⑱ 作業用ヘラ



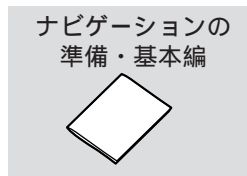
## ⑲ アース板保護シール



## 地図ディスク



## 取扱説明書



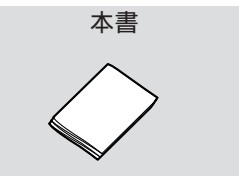
ナビゲーションの  
準備・基本編

## 取扱説明書



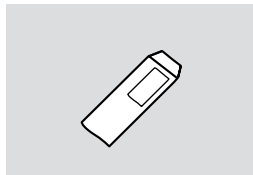
ナビゲーションの  
操作編

## 取付説明書



本書

## 保証書



万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。  
内容物の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

この説明書は、再生紙を  
使用しています。



この説明書の印刷には、植物性  
大豆油インキを使用しています。

松下電器産業株式会社

パナソニック オートモーティブ システムズ事業グループ

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地

お客様相談センター 電話 ☎ 0120-50-8729

一般電話 045-929-1265 (携帯電話・PHSなど)

FAX 045-938-3244

受付 9:00~17:00(土・日・祝日・弊社休日を除く)

一般電話、およびFAXをご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

© 2003 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

YEFM293105 F1203-0

## 取り付け・配線の前に

取り付ける前に部品を確認してください。

取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法があった工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。

別売の機器でシステムアップする場合には、必ず指定品をお使いください。

(※操作編：「他の機器(別売品)と組み合わせて使う」)  
また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。

## 安全に正しくお使い いただくためのお願い

安全のため、必ずバッテリーの⊖端子をはずしてから作業してください。

必ず付属品や指定の部品を使用し、説明に従って正しく設置・配線してください。

取り付け・配線等に、保安部品(ステアリング、ブレーキ系統、タンクなど)のボルト・ナット・ビスなどを絶対に使わないでください。

DC12V⊖アース車で使用してください。

分解・修理、および改造をしないでください。

コード類は、運転や乗り降りの妨げにならないように引き回してください。

シガーライター電源から複数の電源をとらないでください。

安全のため、必ずサイドブレーキコードを接続して使用してください。

コードを傷つけたり、挟み込むなど破損しないように引き回してください。

(ドアやシート移動時など)

運転や視界の妨げになる場所に絶対に取り付けしないでください。

エアバッグのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けしないでください。

作業終了後、確実に取り付け・配線されていること、および車の電装品が正しく動くことを必ず確認してください。

## ナビゲーション本体の取り付けかた

取り付ける前に

ナビゲーション本体をスタンドに仮止めし、取り付け位置を確認してください。

スタンドは、一度取り付けした後、はがすと粘着力が弱くなるため、貼りなおしができません。

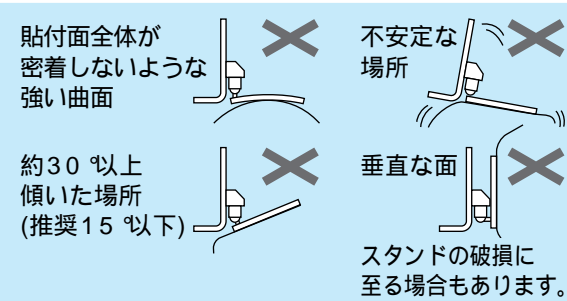
ダッシュボード用クリーナーで設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。

気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

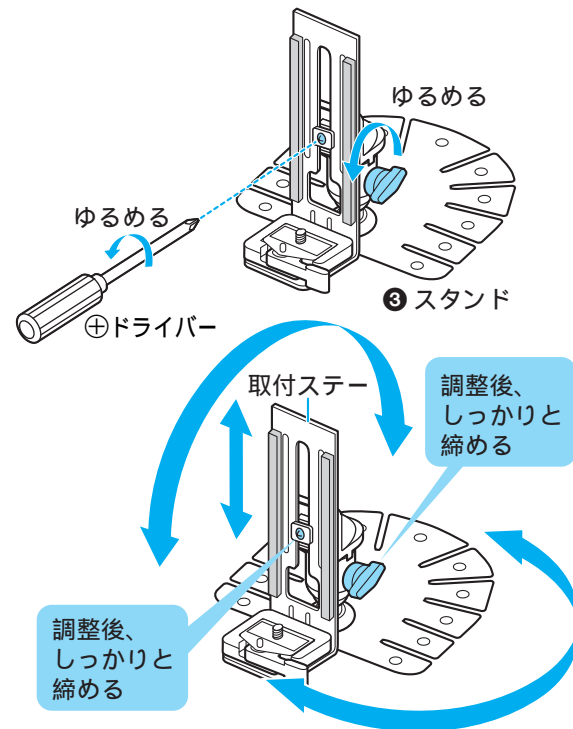
### 取付位置について

指定のスタンドを使用し、はずれたり落下しないように、しっかり取り付けて安定させてください。

下記のような場所には絶対に取り付けしないでください。落下する原因になります。



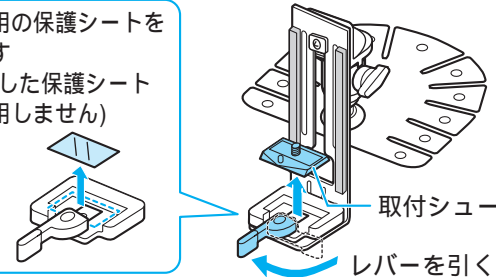
### 1 スタンドの向き・高さを調整する



### 2 ナビゲーション本体をスタンドに仮止めし、取り付け位置を確認する

① 取付シューを取りはずす。

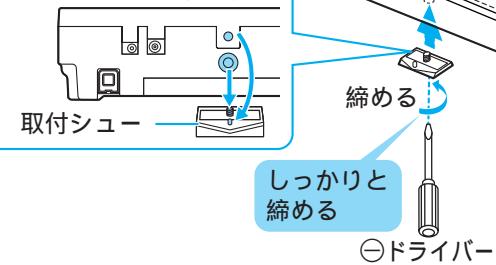
輸送用の保護シートをはずす(はずした保護シートは使用しません)



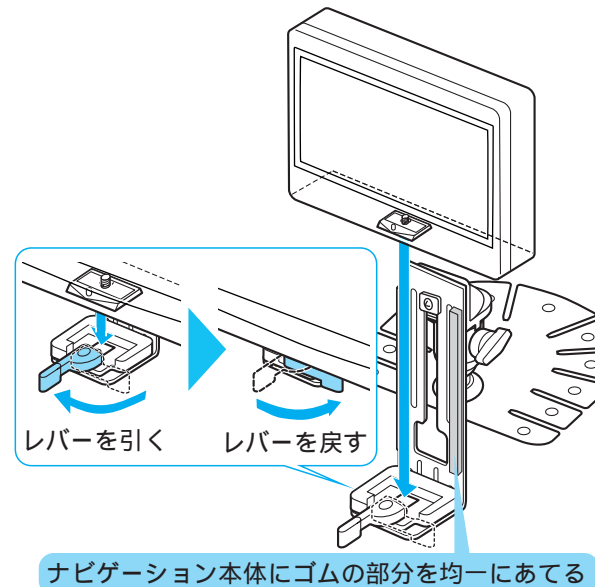
② ナビゲーション本体に取付シューを取り付ける。

ナビゲーション本体の穴を、取付シューの突起に合わせる。

① ナビゲーション本体(底面)



③ ナビゲーション本体をスタンドに取り付ける。



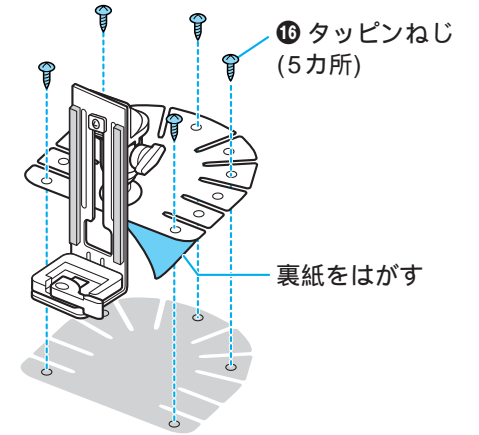
④ 高さや向きを確認してから、スタンドからナビゲーション本体をいったん取りはずす。

### 3 スタンドをダッシュボードに取り付ける

① スタンドをダッシュボードに取り付ける。

スタンドを設置面に強く押し付けて、確実に密着させてください。

安全のため、**付属のねじで固定**してください。(ダッシュボードに穴が開くことをご了承ください。)

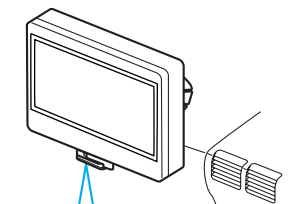


固定力を強くするため、ナビゲーション本体を取り付けずに24時間以上放置してください。

設置面(ダッシュボード)が平らでないときはスタンドをダッシュボードの形状に合わせて曲げてください。

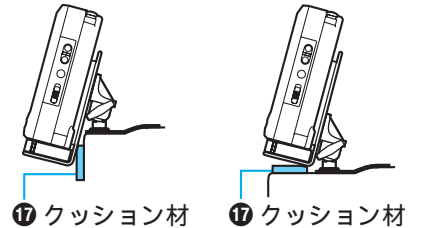
24時間以上経過したら...

② ナビゲーション本体をスタンドに取り付ける。



ダッシュボードに取付ステーが近接するときは振動でノイズが発生する原因になります。クッション材を貼り付けてナビゲーション本体を安定させてください。

- 取付例 -



# フィルムアンテナの取り付けかた

## 取り付ける前に

アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり取り付けてください。

付属のフィルムアンテナは、車内取り付け型の簡易アンテナです。

電波の受信状態が悪く、テレビの映りやFM多重の受信がよくない場合は、別売のダイバーシティアンテナ (CL-T70D/CL-T80D/CL-T90D) を使用してください。

車種によって、取り付けられない場合があります。熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に相談してください。

仮止めして、取り付け位置を確認してください。フィルムアンテナは、一度取り付けした後、はがすと粘着力が弱くなるため、貼りなおしができません。

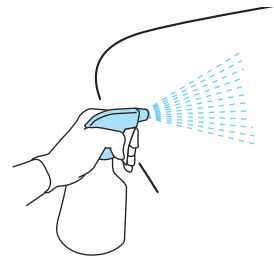
・設置面(ガラス面)のごみ、油、汚れなどをきれいに拭き取ってください。

・ダッシュボードや車内に水がかからないように、シートやタオルなどで保護してください。

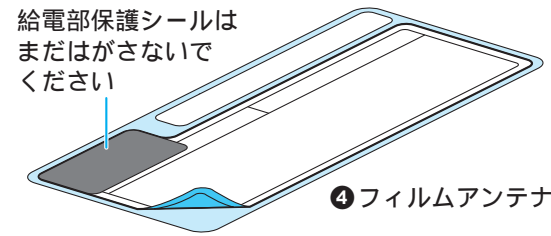
## フロントウインドウに取り付ける場合 (推奨)

### 1 アンテナを貼り付ける

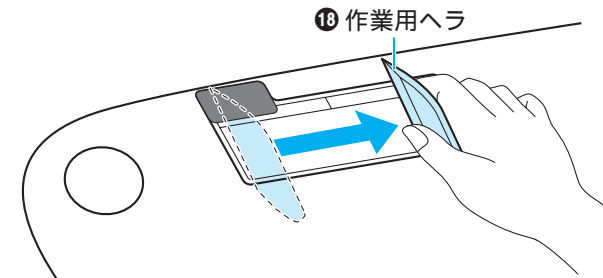
- ① フィルムアンテナを貼り付けるガラス面に霧吹きなどで均一に水を吹き付ける。



- ② フィルムアンテナをはがし、貼り付ける。  
折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。断線の原因になります。  
のり面は、汚さないでください。



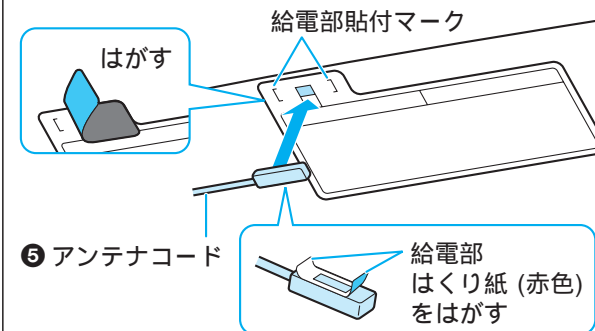
- ③ 作業用ヘラでフィルムアンテナの気泡を取り除き、フィルムアンテナ周辺の水分を拭き取る。  
強くこすりつけないでください。フィルムアンテナに傷が付いたり、断線の原因になります。



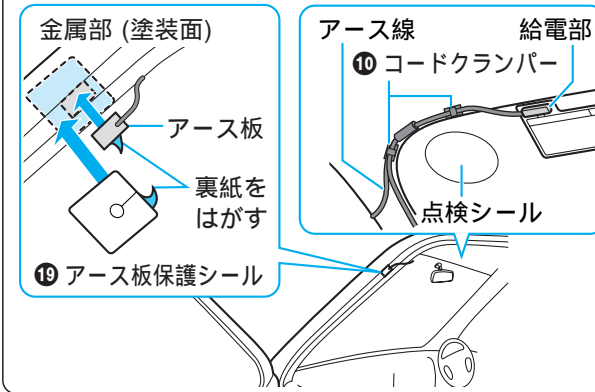
- ④ 2~3時間そのまま放置し、十分に乾燥させる。

### 2 アンテナコードを取り付ける

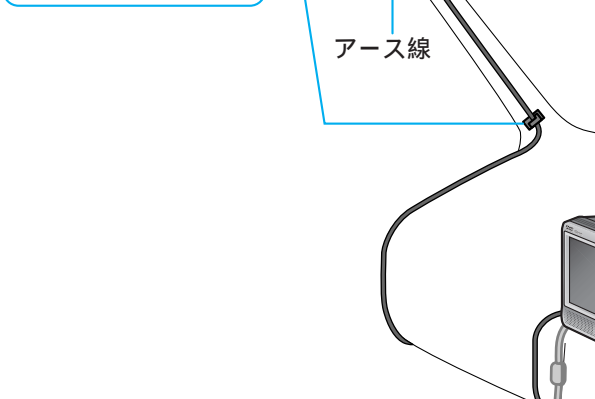
- ① フィルムアンテナの給電部保護シールをはがし、アンテナコードの給電部をフィルムアンテナの給電部貼付マークに合わせて貼り付ける。



- ② アース板を前席ドア内側などの金属部(塗装面)に貼り付けて、コードを引き回す。  
金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。貼付面のごみ、油、汚れなどをきれいに拭き取ってください。



- ⑩ コードクランパー  
給電部の近くを固定する

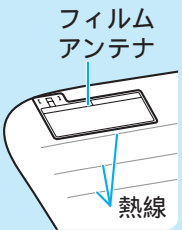


## リアウインドウに取り付ける場合

ハッチバックタイプの車は、リアウインドウに取り付けることもできます。  
ただし、ウインドウの角度によっては、電波を受信しにくい場合があります。また、ハッチバックタイプ以外の車はアース板を配線しにくいいため、十分な性能が得られません。

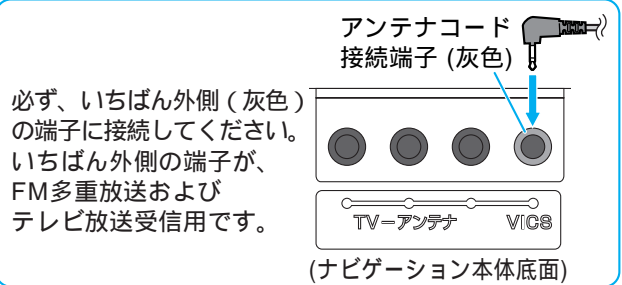
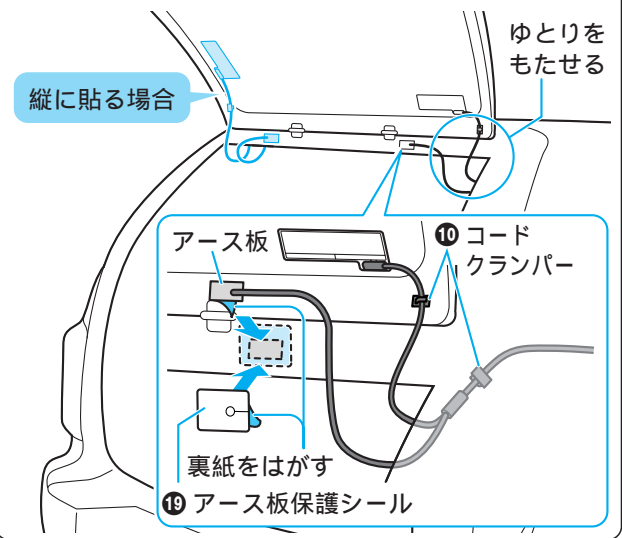
### お願い

リアウインドウにアンテナが内蔵されている場合は、電波が干渉するため取り付けられません。お買い上げの販売店に相談してください。  
熱線と重なる場合は取り付けられません。(ショートや発熱の原因になります。)

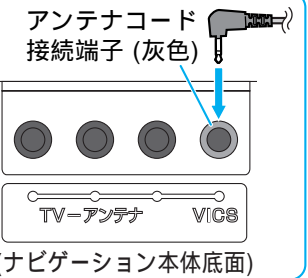


### 配線について

ドアの開閉時にコードに無理な力が加わらないよう適度なゆとりを持たせてください。



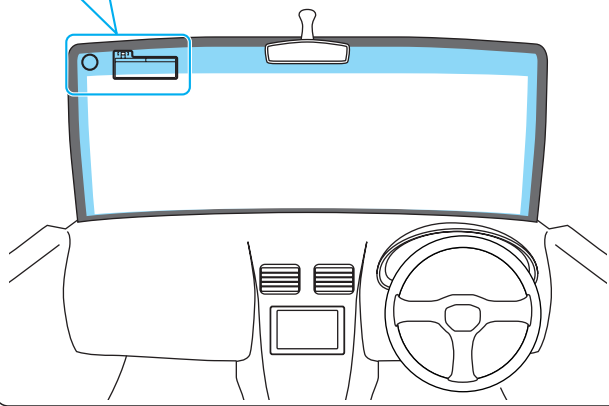
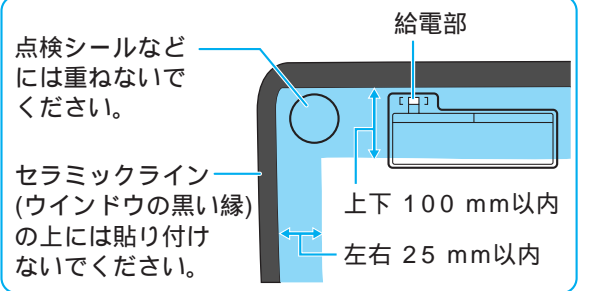
必ず、いちばん外側(灰色)の端子に接続してください。いちばん外側の端子が、FM多重放送およびテレビ放送受信用です。



## 取付許容範囲(部)について

国土交通省の定める保安基準に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内に取り付けください。

保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省(当時)告示第820号をいいます。



# GPSアンテナの取り付けかた

## 取り付ける前に

設置面の汚れ（ごみ、油など）をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。  
気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

## 車外に取り付ける場合（推奨）

### 1 ルーフの平らな面に取り付ける。



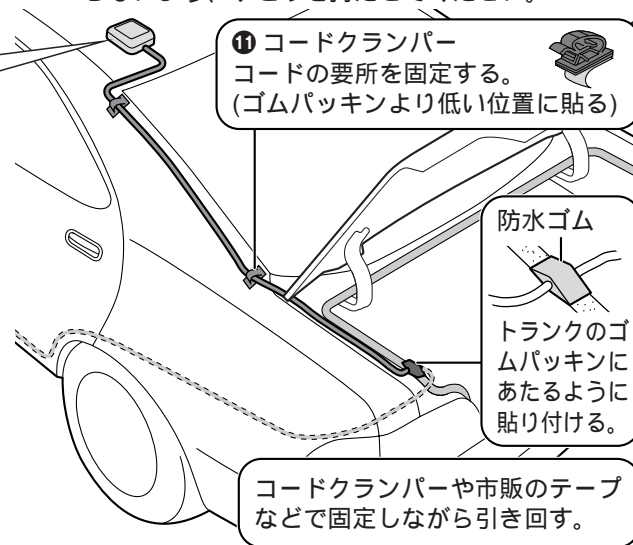
ルーフキャリアの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。

### お願い

GPSアンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。洗車などのときは、必ずGPSアンテナを取りはずしてください。取りはずすときは、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。

### 2 トランクに雨水が入らないようにコードを引き回す。

トランクリッド開閉時に、コードに無理な力が加わらないよう、ゆとりを持たせてください。



① コードクランパー  
コードの要所を固定する。  
(ゴムパッキンより低い位置に貼る)

防水ゴム  
トランクのゴムパッキンにあたるように貼り付ける。

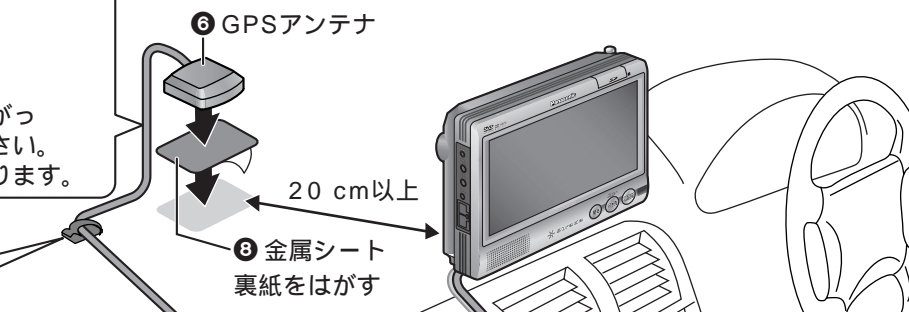
コードクランパーや市販のテープなどで固定しながら引き回す。

## ダッシュボードやリアトレイの上（中央部のガラス付近）に水平に取り付ける



コードをドライバーなど先のとがったもので押しすぎたりしないでください。コードが傷つき故障の原因になります。

① コードクランパー  
要所を固定する。



⑧ 金属シート  
裏紙をはがす

### お知らせ

車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。  
車体の形状や電波を通さない一部のウインドウガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」（操作編）に相談してください。  
自車位置の測位精度をさらに高めたいときは、別売の自立航法ユニット（CY-SG50D）を使用してください。

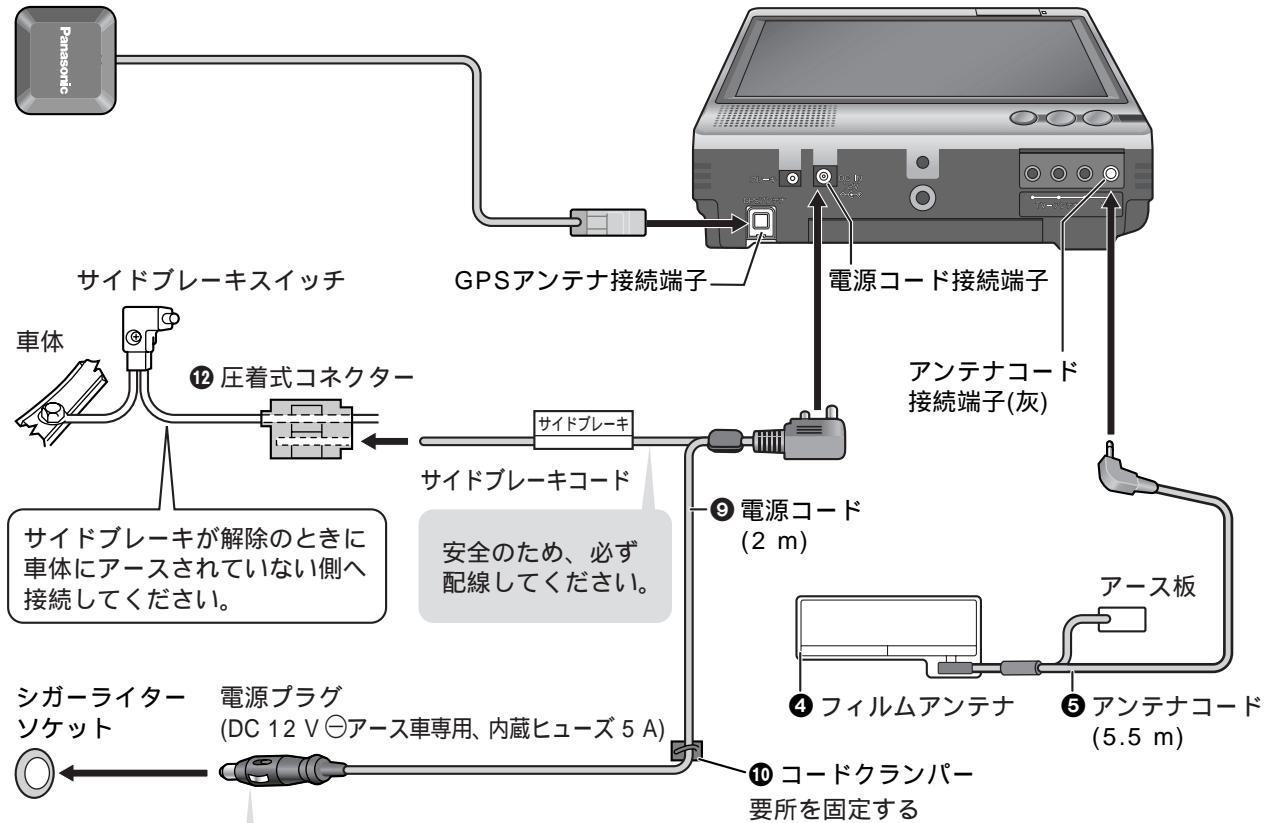
### お願い

金属シートは、  
・必ず、付属の金属シートを使用してください。  
・折り曲げたり、切って小さくしないでください。  
あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から30 cm以上離してください。  
GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。故障したり、使えなくなる場合があります。

# 配線のしかた

## ⑥ GPSアンテナ（コード 6 m）

## ① ナビゲーション本体（底面）



サイドブレーキスイッチ

GPSアンテナ接続端子

電源コード接続端子

アンテナコード  
接続端子(灰)

車体

⑫ 圧着式コネクタ

サイドブレーキ

サイドブレーキコード

⑨ 電源コード  
(2 m)

アース板

④ フィルムアンテナ

⑤ アンテナコード  
(5.5 m)

サイドブレーキが解除のときに車体にアースされていない側へ接続してください。

安全のため、必ず配線してください。

シガーライター  
ソケット

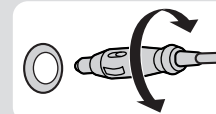
電源プラグ  
(DC 12 V ⊖アース車専用、内蔵ヒューズ 5 A)

⑩ コードクランパー  
要所を固定する

シガーライターソケットの奥までしっかり差し込んでください。(接触不良の原因になることがあります。)

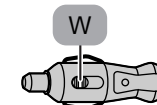
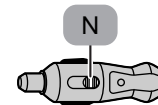
一部の車種では、電源プラグを差し込む角度によって、接触不良を起こしたり、通電しなくなる場合があります。

そのときは、シガーライターソケットの端子の位置を確認し、電源プラグを通電する角度に調整してください。

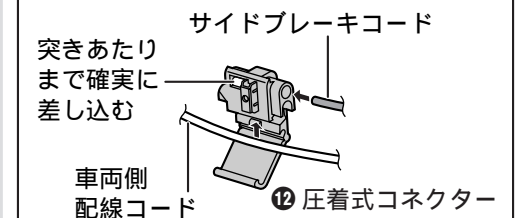


### スライドスイッチについて

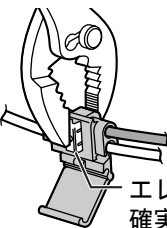
ほとんどの車はN側で使用できますが、欧州車などソケットの口径が大きい場合は、W側に切り替えてお使いください。



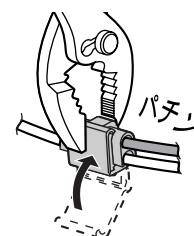
## 圧着式コネクタの取り付けかた



突きあたりまで確実に差し込む

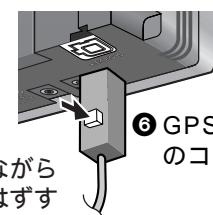


エレメントを確実に押し込む



## ロック付きコードの取りはずしかた

無理に引っ張ると、破損することがあります。必ず、ロックが解除されていることを確認してから取りはずしてください。



押しながら取りはずす

⑥ GPSアンテナのコード

# 取り付け・配線の確認

本機を正しく動作させるため、下記の手順で取り付け・配線を確認してください。

## ① 電源を入れる

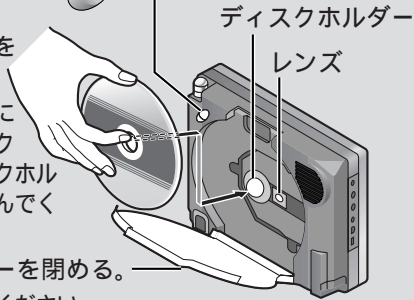
1 ナビゲーション本体をスタンドから取りはずし、ディスクを入れる。

① 電源を切った状態で を押す。

② 地図ディスクを入れる。

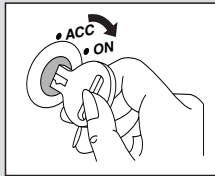
印刷面を外側に向け、ディスクの穴をディスクホルダーにはめ込んでください。

③ ディスクカバーを閉める。確実に閉めてください。



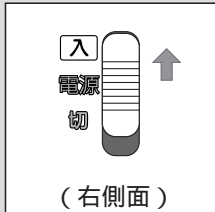
レンズおよびその周辺には絶対に触れたり汚したりしないでください。本機の動作中に、ディスクカバーを開けないでください。

2 車のエンジンをかける。またはACCに入れる。

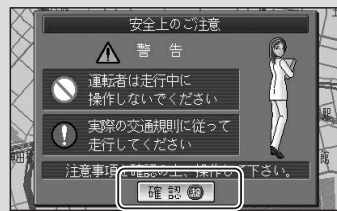


3 ナビゲーション本体の電源スイッチを「入」にする。

オープニング画面表示後、警告画面が表示されます。オープニング画面表示中は、車を発進させないでください。システムを起動する準備をしています。



4 注意事項を確認して、「確認」にタッチする。



5 GPS信号 ( ) を受信していることを確認する。( : 「準備・確認」)



## ② 車両信号を確認する

1 を押す。



2 **情報・設定**  
**システム情報** にタッチする。



3 **車両信号情報** にタッチする。



4 確認する。



車両情報信号画面

GPSアンテナ	ON表示になっていますか？
リバース	別売の車載用カラーカメラ (TW-CC160Bなど) を接続している場合、チェンジレバーをR(リバース)に入ると、ON表示に変わりますか？
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くと、ON表示に変わりますか？
スピード	自車の速度を表示します。
ACC電圧	約12 V (11 V ~ 16 V) になっていますか？

接続には、別売のリビューカメラ接続ケーブル (CA-LRC10D) が必要です。

手順3で **拡張ユニット情報** を選ぶと拡張ユニット画面が表示されます。



## ③ 拡張ユニット・SDメモリーカードを確認する

別売の自立航法ユニット (CY-SG50D) を接続している場合

車両信号情報画面を表示する。( 左ページ)



① **パルスリセット** にタッチして、「車速パルス」をリセットする。同じように、「学習レベル」「ジャイロ角度補正」もリセットする。

車から出力される車速パルスに一定の係数 (車速補正係数) をかけて距離を算出し、より正確な自車位置を地図画面上に表示させることができます。(全自動距離補正システム)

② 現在地画面を表示させ、平均速度20 km以上で見通しの良い場所をしばらく (30分程度) 走行したあと、「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」を確認する。

車速パルス	リセットすると「0」になります。走行後、数字が変化していますか？
学習レベル	リセットすると「レベル1」になります。走行後、数字が変化していますか？ (レベル3が最も誤差の少ない状態)
ジャイロ角度補正	リセットすると「未補正」になります。走行後、「補正完」になっていますか？

### お知らせ

次の場合にも「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」をリセットし、再度補正してください。

- ・別の車に本機を載せかえた
- ・タイヤを交換した
- ・タイヤをローテーションした
- ・自立航法ユニットを移動した場合

市街地などで渋滞・停車を頻繁に繰り返すコースや右左折が多いコース、またGPS信号を受信しにくいコースでは補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。

車種によっては、スピードをあげると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

拡張ユニットの接続やSDメモリーカードの挿入を確認する

拡張ユニット画面を表示する。( 左ページ)



メモリーカード	別売のSDメモリーカードを挿入すると、ON表示に変わりますか？
ビーコンユニット	別売のVICSビーコンユニット (CY-TBX55D) を接続している場合、ON表示になっていますか？
ジャイロユニット	別売の自立航法ユニット (CY-SG50D) を接続している場合、ON表示になっていますか？
リヤカメラ	別売の車載用カラーカメラ (TW-CC160Bなど) を接続している場合、ON表示になっていますか？

接続には、別売のリビューカメラ接続ケーブル (CA-LRC10D) が必要です。

### FMトランスミッター機能を確認する

FMトランスミッターを使用する場合は、「本体スピーカー出力」を「ナビ音声専用」に設定してください。( : 「音声/映像の設定を変える」)

- ① FMラジオの受信周波数をFM76.0 MHzに合わせる。
- ② テレビ画面に切り替える。
- ③ テレビの音声がFMラジオのスピーカーから聞こえるかを確認する。

車のFMアンテナの位置によっては、FMトランスミッターが受信しにくく、ノイズの原因になります。

### お願い

FMトランスミッターがラジオ放送と混信するときは、FMトランスミッターの周波数を変更してください。

( : 「音声/映像の設定を変える」)

FMトランスミッターを使用しないときは、「しない」に設定してください。( : 「音声/映像の設定を変える」)

ノイズ防止のため、フィルムアンテナのコード、GPSアンテナのコード、電源コードはナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオ、FMトランスミッターの音声が雑音が入る原因になります。